

第8回ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞

学校名 かがわけんりつたかまつこうげいこうとうがっこう
香川県立高松工芸高等学校

校長名 かわい ひでや
川井 秀哉

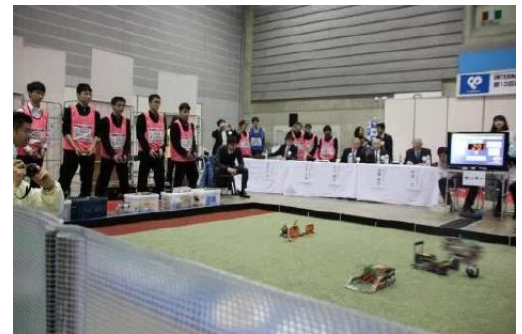
案件の概要

(学校のものづくり人材育成に向けた特色ある取組)

○ロボット競技大会やコンクールへの積極的参加

全国的な規模のロボット競技大会への参加や全国的な公的機関が公募する各種ポスターコンクール、マーク・キャラクターデザイン等の制作を通して、技術力の向上や作画、プレゼンテーション技法を習得できるよう指導している。

ロボット競技大会の様子



○学科の枠を超えた創造性を育む教育

工業に関する4学科、芸術に関する3学科がそれぞれの専門分野を生かして、横断的に協力したものづくりができる体制を整え、「creative7」と称して活動を実施。伝統的地場産業である香川漆器の振興を大きな目的の一つとして、関係団体等と連携して新たな需要を開拓する新商品の開発や地域ブランドの活用などに取り組んでいる。

また、管理職のリーダーシップで教職員と生徒の一体感が醸成されており、学校全体がものづくり人材の育成に向けて一丸となり、地域企業等と連携した取組を実施している。



(取組を通して得られた具体的な成果)

○ ロボット競技

「第26回高校ロボット相撲全国大会ラジコン型」優勝・準優勝

「ジャパンマイコンラリー2019全国大会」Basic Class ベスト8

「第14回高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会」第3位

○ 資格

「レタリング技能検定1級」2名 文部科学大臣賞、優秀賞、優良賞

「公害防止管理者ダイオキシン類」3名、「トレース技能検定1級」24名